



しーぱっぶ CPAP外来通信 第210号

2022.11
呼吸器内科

皆様こんにちは♪CPAP 外来通信を手にとっていただき有難うございます。
さて今回は、CPAP 機器で使用する加湿器についてご紹介いたします。



空気が乾燥する季節には加湿器を！

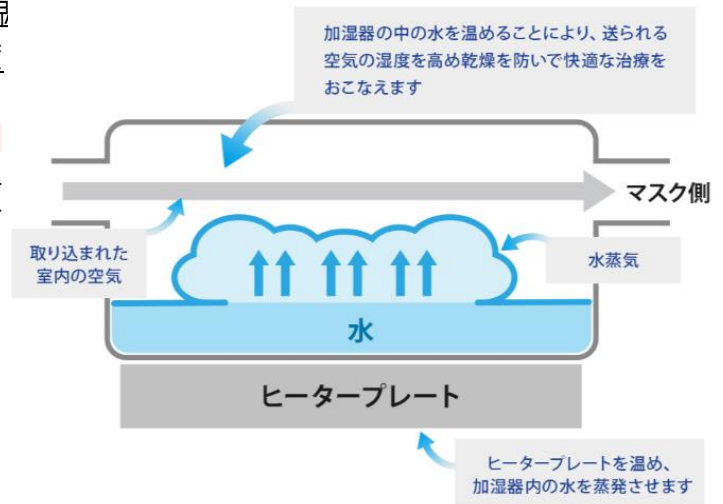
夏の間は外していた『加湿器』をそろそろ準備する季節がやってまいりました。

CPAP 本体に蒸留水をセットするチャンバー・加湿チューブを使用することで、治療時に一定の温度や湿度を出力することが出来ます。

加温加湿は鼻やのどの乾燥といった治療による副作用を軽減し快適に使用することが出来ます。手元ではなく、ご希望がございましたら主治医にご相談ください。



加湿の仕組み



お知らせ①

9月末、CPAP 装置スリープメイト製造販売元であるレスメド社より「半導体を含めた部品・部材の調達につき世界的に入手が困難な状況が続いているため、今後 CPAP 製品の大幅な供給不足が発生する可能性があります」との連絡が入りました。つまり、CPAP 機器に内蔵されている通信チップの半導体確保が困難な状況となっているそうです。

当院は昨年12月から遠隔通信を開始しておりますが、この遠隔通信によるデータ解析に影響を及ぼすものです。今後の世界情勢によりまた変化するものと考えられますが、『新しく CPAP 治療を導入される方』、または『長期使用により機器交換のため CPAP 機器を新しくされる方』のお手元に届く CPAP が遠隔通信非対応となる可能性がありますのでご了承下さい。その遠隔通信非対応 CPAP では SD カードによるデータ解析となります。

お知らせ②

10月フィリップス・レスピロニクス社より CPAP 治療で治療するマスクについての注意喚起の連絡が入りました。ドリームウィスプ ネーザルマスク・ウィプス ネーザルマスクで使用されているマグネットにて、磁場の影響を受ける可能性のある医療用インプラントまたは医療機器の機能に影響を与えたり、動作/ずれを誘発したりする可能性があるとの報告です。

ペースメーカー
植え込み式除細動器
動脈瘤クリップ
脳脊髄液シャント
神経刺激デバイス等は使用に対し禁忌となります。詳しくは CPAP 担当会社にご連絡ください。



来月の CPAP 外来は第2木曜日の12月8日(Dr栗林)、第4木曜日の12月22日(Dr栗林)に行いますので、お間違えのないように受診してください。

☆ 過去の CPAP 外来通信が呉共済病院ホームページでご覧になれます ☆ 発行/ 臨床研究科

